

すぎなみ大人“熟”してる？

J u k u s i t e r u ? T I M E S ' 1 1

平成23年6月1日発行

発刊元：まつざわかみなと（非営利活動団体）

東京都杉並区梅里 1-22-32(社会教育センター内) TEL 3317 - 6621 FAX 3317 - 6620

創刊号

5月21日



学ぶ×発信×行動が、可能性をつくりだす！

ここから、杉並と日本を大きく変えよう!!

5月21日、ひとつのはじまりを祝福するような晴天の中、すぎなみ大人塾が開講。記念講演として、マーケティング・広告の専門誌「宣伝会議」編集室長・田中里沙氏が、自身の経験も交えながら、「大人が学ぶこと」から動き出す新たな可能性を私たちに伝えてくださった。田中氏は言う。「変化の激しい現代社会は、まるで人生を2度生きるようなもの。その中で、社会の流れに身をまかせただけではなく、自分が誰かにはたらきかけ、自分の意志で選択し生きていく。そのための支えとなるのが、新たな視点・考え・価値観に出会う『学び』である」と。しかし、話は「学ぶ」だけでは終わらない。学ぶことで自分が得たワクワク感、新たな発想、アイデア。そういったものを「現在進行形」で、どんどん他の人たちへ「情報発信」していくことが大事。というのも、自分や地域・社会にある様々な課題を乗り越えていくアイデアは、一人の頭ではやはり限界がある。立場・境遇を異にする仲間たちとともに話し合い、発想する土壌をどうつくれるか。そのきっかけを保障するのが「自分から発信すること」。情報発信することで、仲間ができ、いろんな角度・視点からの情報が舞いこみ、次なる「行動」へと動き出せる。最後に、田中氏が実感をもて話したことは、「世の中や社会を変えるような活動や動きも、元をたどれば、5人・10人がはじめた小さな一歩。みなさんがここで学び、発信し、行動することが、杉並を、そして日本を変える第一歩となる。」まさに、自らが行動する活力を育む「大人塾」の開講記念講演にふさわしい内容であった。

同時開催！スペシャルライブ
まきみちるさんが「KIZUNA (絆)」を熱唱！

KIZUNA hold us together,
KIZUNA is the bridge for
the heaven, is the bridge for
the freedom. KIZUNA key for
happiness ...

「絆が私たちを包み、幸せや自由への架け橋となる...」そんな内容のすばらしい歌。まきさんの小柄な体からは想像のできない声量と迫力に圧巻！

人塾」の開講記念講演にふさわしい内容であった。

6月からいよいよ両コースがはじまる。ここに集ったメンバーで、どんな発想や活動が生み出されるのか。まずは、新しいことへのワクワク感を持つこと、それがスタートライン!! (記事：川上)

これから一年間
よろしく～!

愛すべき大人塾のメインキャラ
カルガモちゃん



大人塾を支える「おとな」たち

みなさんの学び・気づき・活動に適切なアドバイスと講座の進行・運営を行う学習支援者をご紹介します

広石 拓司

大阪府出身。三菱UFJリサーチ&コンサルティング、社会起業家育成支援のNPO法人ETICを経て、(株)エンパブリックを設立。幅広い人が社会活動を充実させるための資源発掘、人材育成、仕組みづくり、運営支援などのトータルサポートを行う。慶応義塾大学総合政策学部非常勤講師。

松田 道雄

山形県出身。元中学校教員、高千穂大学教授を経て、現東北芸術工科大学総合美術コース教授。全国に広がる「だがしや楽校」の発案者。主著『だがしや楽校のススメ』、『輪読版駄菓子屋楽校』、『関係性はもう一つの世界をつくり出す』など。

谷原 博子

福岡県出身。FM福岡のアナウンサー、長崎国際テレビのキャスターに加え番組制作のディレクターとしても活躍。現在は杉並区の地域コーディネーターをつとめ、また自然災害・危機管理等のドキュメント取材を中心にフリーアナウンサーとしても活動中。

手塚 佳代子

高円寺出身。フリーランスマーケターとして海外放浪・マーケティングを繰り返し、25才で渋谷に制作会社設立。出産後フリーに戻り、現在は個人デザイン事務所+クリエイティブ支援のNPO法人チューニング・フォー・ザ・フューチャー代表と、2足のわらじで活躍中。

すぎなみ大人 熟 してる？の発行にあたって

この新聞は事務局スタッフ松坂・川上・湊の独断と偏見と多少の事実に基づき作成しております。